

イー歯トープ 8020



歯と口のハテナ

県歯科医師会

19

歯周病と心筋梗塞

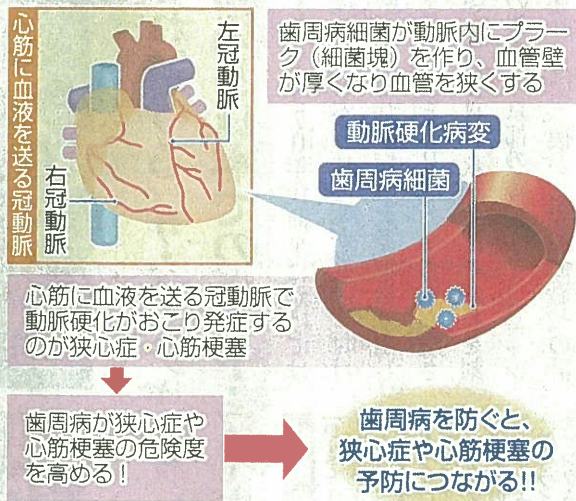
越水 正樹



越水 正樹（こしみず・まさき）1965年生まれ。奥羽大歯学部卒。県歯科医師会学術医療管理委員会委員。こしみず歯科クリニック（一戸町）院長。一戸町在住、同町出身。

歯周病と心筋梗塞と聞いて、「いったい何の関係があるの?」と思った人もいるかと思いますが。最近になって二つの病気の関連性についてさまざまに分かってきました。心筋梗塞とは言うまでもなく心臓の病気です。心臓には冠動脈という血管があり、心筋はそこから栄養や酸素を補給しています。その冠動脈が動脈硬化を起こすことで血液の流れが悪くなった状態を狭心症と呼び、完全に詰まってしまい心筋組織が機能しなくなってしまう状態を心筋梗塞といい、激痛や心停止、突然死を起こすことがあります。命に直結する重篤な病気です。動脈硬化は、血管壁に

冠動脈硬化巣から菌



脂肪分が蓄積したり、血中の飲みすぎの改善、管を収縮させて動脈硬化を促進させます。それにより、冠動脈の動脈硬化巣から歯周病細菌の検出が報告されています。歯周病が進行すると歯周組織の血管は弱くなった

り傷ついたりしてしまい、歯周病菌はそこから容易に血管内に入り込み全身へと回ってしまうのです。そして血管壁を傷つけ脂肪性の沈着物が蓄積していき動脈硬化を起したり、血小板に異常をきたして血栓ができやすくなるといわれています。適切な歯周病治療や歯周病にならないための予防は心筋梗塞のリスクの低減にもなります。